

4-1-18 看護部（保育士を含める）

1. 活動内容

1.1 概要

平成15年度は、4月1日付で看護職員定数、看護師（助産師含む）435名、保育士6名、看護助手17名で、看護部長、副看護部長1名、看護師長3名の人事異動と、新採用者52名でスタートした。10月1日付で、看護師4名、臨床教員（母性）1名の増員があり、看護師（助産師含む）定数439名となった。

4月1日より11階西病棟が休棟となった。そのため、看護師配置を再調整し、救急外来を1看護単位として運用し、救急体制の強化を図ることとなった。また、6月1日より夜間の緊急手術への体制強化のため手術室を交替制勤務とし準夜勤を開始し深夜帯はオンコール体制とした。さらに、夜間の緊急入院も多くあるため10月1日より看護師長の当直勤務体制を3交替とし夜間の看護管理体制を強化した。11階西フロアで行うこととなった女性総合外来、不妊外来を11東病棟で担当することとし看護師を3名増員した。このように、昨年に続き15年度も病院の動きに対応し看護の体制も見直し変更の1年であった。

平成15年度看護部の目標は、1)教育システムの構築、2)病院経営への積極参加、3)感染防止・事故防止、4)情報システムの活用、5)業務内容の見直し、6)チーム医療の推進、7)院外の関連領域との連携を挙げ、この目標を踏まえ、病棟目標、委員会目標を設定し各々果敢に活動した。教育委員会では、成育看護専門コースの研修について検討し、看護部院内教育の構築を行い冊子にまとめた。看護記録委員会では、旧国立大蔵病院、旧国立小児病院で看護記録方法が異なっていたことにより懸案となっていた看護記録記載マニュアルを電子カルテ使用と関連させ作成した。病院経営への参画としては、11月に行われた本省の特別経営指導の指摘事項について改善に取り組んだ。主な改善点として、1)緊急入院患者のベットコントロールを看護部で担当、2)重症加算室を見直し13室から21室に増床、3)手術キットを見直しコスト削減、4)節電の徹底、5)NICU加算ベット増床などに積極的に参画した。

また、看護師長会では、中間管理者である看護師長が、当センターで業務を遂行する上で必要な看護師長業務指針を作成した。副看護師長会では、電子カルテでの申し送りの検討や入院案内の見直し、看護用品管理の統一など行った。

成育医療センター開院2年目で、看護職員も電子カルテ使用に慣れ病棟運営も軌道に乗ってきた。専任の業務を行っている遺伝カウンセリングナース、治験コーディネーターナース、移植コーディネーターナース、臨床教員の4名も業務内容が明確になり組織横断的な活動ができるようになってきた。

日本看護協会が認定する感染管理認定看護師1名、小児看護専門看護師2名が誕生した。各分野での今後の活躍を期待できる。さらなる、看護の充実を図っていきたい。

1.2 研修生受け入れ

4階西病棟：平成15年9月1日～11月30日 旭川医科大学医学部附属病院より、看護師1名

1.3 看護学生・助産学生実習受け入れ

1. 国立病院東京災害医療センター附属昭和の森看護学校
3学年：平成15年5月6日～7月10日 44名
2. 国立病院東京医療センター附属東ヶ丘看護助産学校 看護学科
2学年：平成16年5月6日～11月6日 12名
3学年：平成15年5月6日～11月6日 75名
3. 国立病院東京医療センター附属東ヶ丘看護助産学校 助産学科
助産学生：平成15年6月30日～11月31日 97名

4. 国立看護大学校

3学年：平成 15 年 11 月 10 日～平成 16 年 3 月 10 日 小児看護学 94 名
母性看護学 76 名

1.4 見学受け入れ

平成 15 年度の病院の見学者受け入れ、209 件。うち看護部で対応 11 件。

小児病棟、産科病棟、NICU、ICUの見学は、どの見学内容にも含まれるため年間をとおし
て対応した。

2. 研究活動

[投稿]

1. 山元恵子：次世代を育む安らぎと安全な病院施設 看護の立場から 1 年目の評価 . 病院
設備, 2004 年 5 月号第 45 巻 3 号(通巻 253 号)
2. 山元恵子：国立成育医療センター病院における医療安全対策 安全管理と組織としての取り
組み . 小児看護, 2003 年 11 月号 Vol . 23 No . 12
3. 山元恵子：小児看護に時間と人員を要する理由 小児看護 24 時間タイムスタディ . 小
児看護, 2004 年 4 月号 Vol . 27 No . 4
4. 山元恵子：患者誤認防止 . 臨床医, 2004 年 Vol . 30 No . 5
5. 阿部さとみ：下痢が頻繁な児へのトイレトレーニング . 小児看護, 2004 年 2 月号
6. 國見恵子, 阿部聖世：成育医療がめざす周産期ケア . 助産雑誌, 2003 年 8 月
7. 阿部聖世：パルトグラム電子化の取り組み . 助産雑誌, 2003 年 8 月
8. 五十嵐美和：プレグノグラム電子化の取り組み . 助産雑誌, 2003 年 8 月
9. 湯本智子, 阿部聖世, 三浦寿子：SPDシステムの導入 物流システムが変わると助産が変わる .
助産雑誌, 2003 年 8 月
10. 源名保美, 國見恵子：国立成育医療センターにおける安全管理システム バーコードシステム
の活用 . 助産雑誌, 2003 年 8 月
11. 畠 敏枝：産褥期の観察・アセスメント「異常産褥の予防とケア」-分娩後 1 週間を中心に- .
ペリネイタルケア 2004 年 1 月 1 日発行
12. 目黒香織, 斎藤弘恵：国立成育医療センター病院における医療安全対策(2) . 小児看護, 2003
年 12 月号
13. 佐々木祥子：移植コーディネーターとは . 助産雑誌, 2003 年 8 月
14. 斎藤弘恵：エキスパートナーズ・ストーリー . エキスパートナーズ, 2003 年 6 月

[院内発表]

1. 小椋安希子：ICUで働く看護師の 24 時間家族面会に関する意識調査 . 2004.1.28
2. 栗林佳奈子：胎児治療をめぐる看護の役割と課題 . 2004.1.28
3. 長尾恭子：ローレンツギブス装着患者様の退院指導を見直すために アンケート調査から退院
指導の現状を知る . 2004.1.28
4. 綱嶋章子：24 時間面会の現状, H . 2004.1.28
5. 山内美智子：モジュール型 固定チームナーシングによる看護について 患者アンケート調査
により今後の看護の課題を明確にする . 2004.1.28
6. 中村瑞穂：救急センターを受診した乳幼児事故の実態調査 家庭内で発生した乳幼児の転倒・転
落に着目して . 2004.1.28
7. 児玉 恵：NICUにおける退院指導の現状分析 . 2004.1.28
8. 柿崎幸子：当センターにおける硬膜外無痛分娩の傾向 傾向から考えられる看護手順の作成
. 200.2.17

9. 鬼川喜代子：先天性食道閉鎖症患児への摂食援助を振り返る 出生直後から長期絶食により経口摂取困難となった患児の事例を通して . 2004.2.17
10. 荒武亜紀：心臓カテーテル検査後の安静時間の短縮にむけて 経過報告 . 2004.2.17
11. 相吉 恵：チーム医療における看護師の役割 身体表現性障害の児の事例から学んだ事 . 2004.2.17
12. 阿部典子：チーム医療における外来看護相談の役割 . 2004.2.17
13. 山下千春：行動療法を利用して泣き行動が軽減した事例 . 2004.2.17
14. 藤原友恵：患者急変時看護師の判断と行動と対処技術の確保に向けての取り組み 病棟内研修を実施して . 2004.2.17
15. 森 千春：不育患者へのかかわりを通して . 2004.2.17
16. 島田知子：成育医療センターにおける胎児外科手術 初めての胎児C C A M Iに対する直視下胎児手術を通して学んだ事 2004.2.17

[院外発表]

1. 山元恵子：国立成育医療センターにおける快適で安全な病院施設 看護の立場から一年目の評価 . 第58回国立病院療養所総合医学学会(札幌),2003.10.31
2. 山元恵子：電子カルテの活用とインシデント報告 バーコード認証と患者誤認 . 第4回医療マネジメント学会東京地方会学術集会,2004.2.17
3. 溝口満子・三原喜美恵 他：医療機関における遺伝専門看護職者の雇用ニーズ . 日本遺伝カウンセリング学会,2003.6.5
4. 飯野英親・三原喜美恵 他：看護系大学における遺伝看護教育に対する取り組み . 日本遺伝カウンセリング学会,2003.6.5
5. 三原喜美恵：遺伝カウンセリングプロセスのあり方に関する考察, ~羊水染色体検査における事前カウンセリングの重要性~ . 日本遺伝看護研究会第2回大会,2003.9.20
6. 三原喜美恵：国立成育医療センターにおける遺伝カウンセリング . 第58回国立病院療養所総合医学学会,2003.10.31
7. 畠井恵子：当センターにおける硬膜外無痛分娩の傾向 . 日本母性衛生学会,平成15年10月30日
8. 佐々木祥子：生体腎移植における腎提供に至らなかった1例 . ~三親等ドナーへのコーディネート振り返る~,国立移植研究会,2003.10.30
9. 清水裕子：国立成育医療センターの小児治験におけるインフォームド・アセントについて . 国立病院療養所総合医学学会,2003.10.31
10. 清水裕子：小児治験におけるインフォームド・アセントへの取り組み . 日本小児臨床薬理学会,2003.9.26
11. 清水裕子：小児治験におけるインフォームド・アセント取得の試み . 日本生命倫理学会,2003.11.15
12. 吉田幸子：小児救急医療における看護の現状と今後の課題 . 国立病院看護研究学会学術集会,2003.11.30
13. 西牟田百合子：示説 頭囲拡大のため不良肢位になりやすい子供へ睡眠を促す工夫 ポジショニングを通して . 日本新生児看護学会,2003.11.15
14. 野口 美穂子：小児看護業務量調査に基づく看護度の検討 . 第1回国立病院看護研究学会学術集会,2003.11.30
15. 林 直美：ギブス装着中における総排泄腔外反症児の陥没ストーマ管理 . 日本小児ストーマ排泄管理研究会,2003.5.7
16. 佐藤 摂：ギブス装着中における総排泄腔外反症児の陥没ストーマ管理 . 国立病院療養所総合医学学会,2003.10.31

17. 平良七恵：チーム医療の中での看護の役割．国立病院看護研究会学術集会,2003.11.30
18. 西村里子：小児救急センターにおけるトリアージシステム．第6回日本臨床救急医学会,2003.4.23
19. 林幸子：看護師によるトリアージを実施して現状と課題．第17回日本小児救急医学会,2003.6.21
20. 目黒香織：リスクマネージャーの活動．国立病院療養所総合医学会,2003.10.31

3.研修

3.1 院外研修

[厚生労働省・厚生局関係]

研修会名	主催	研修期間	参加人員
労務管理研修	関東信越厚生局	5/16	近松明美
リスクマネジメント研究会	関東信越厚生局	5/16	山元恵子
幹部看護師管理者研修（短期）	国立病院部	5/26～6/6	国見恵子
労務管理研修	関東信越厚生局	6/5～6/6	吉田幸子・近松明美
管理者研修（新任看護師長）	関東信越厚生局	6/11～6/13	館盛弘子
労務管理研修	関東信越厚生局	6/25	近松明美
副看護師長研修	関東信越厚生局	7/8～7/10	小山陽子・北村由起子 齋藤弘恵・伊藤好美
労務管理研修	関東信越厚生局	7/18	吉田幸子・近松明美
リスクマネジメント研究会	関東信越厚生局	7/18	山元恵子
関東信越地区保健師助産師看護師等実習指導者講習会	関東信越厚生局	8/26～10/23	堤順子
国立赤城青年の家研修	関東信越厚生局	9/8～9/12	伊藤綾子
労務管理研修	関東信越厚生局	9/18	近松明美
医療技術者等研修	関東信越厚生局	9/18～9/19	田中弘子
医療安全教育研修会（中間管理者コース）	関東信越厚生局	10/6～10/10	阿部聖世

[日本看護協会関係]

研修会名	主催	研修期間	参加人員
実習指導者研修	東京都ナースプラザ	10/21～11/7 1/16～2/20	田村静子
実習指導者研修	東京都ナースプラザ	10/21～11/7 11/14～12/19	松本敦子
平成16年度診療報酬改訂・説明会	日本看護協会	(16)3/23	宮澤佳子・早坂素子

[公的機関（厚生労働省、厚生局以外）]

研修会名	主催	研修期間	参加人員
WOC看護研修	国立看護大学校	6 / 23 ~ 6 / 27	葛島千恵美
入院基本料における看護の基準及び入院時食事療養等に関する講習会	東京社会保険事務局	5/23	吉岡明美・榎原恵子
救急患者受け渡し訓練	東京消防庁	6/26	宮澤佳子
救急患者受け渡し訓練	東京消防庁	6/27	林幸子
看護研究研修	国立看護大学校	7 / 7 ~ 7 / 18	諸橋容子
認定看護師教育課程「感染管理コース」	国立看護大学校	10 / 2 ~ (16) 3 / 12	菅原美絵
東京都内国立病院療養所看護師長研修会	看護部長協議会・関東信越支部東京ブロック	10/4	副看護部長2名・看護師長15名
こころの健康づくり対策	日本精神科病院協会	10/27 ~ 10/29	野口美穂子
実習指導者講習会	国立国際医療センター	12/1 ~ (16)2/13	伊藤知亜紀
てんかんに関する看護師研修	国立療養所西新潟中央病院	10 / 8 ~ 10 / 10	小林深幸・田中彩子・山川ミネ子
第4回国際がん看護学会	国立がんセンター	(16)2/27 ~ 2/28	八代尚美・半澤麻弥
認定看護師教育課程「感染管理コース」フォローアップ研修	国立看護大学校	(16)3/4	島田知子
治療施設専門研修（虐待）	こどもの虹研修センター	12/3 ~ 12/5	宮澤佳子

3.2 院内研修

研 修 会 名	年 月	内 容	参加者数
看護師としての自覚と役割 1	H.15 . 4 . 1~9	専門職業人としての自覚を持つことができる。(講義・演習)	52名
看護師としての自覚と役割 2	H.15 . 4 . 22	自己の看護観を培える。(レポート・GW)	53名
接 遇	H.15 . 4 . 2	医療従事者としての基本的態度を身につける。(講義・演習) 基本的接遇(講義・演習)	52名
対象の理解 1	H.15 . 5 . 13	「乳児・幼児・学童の成長発達と対応について」(講義・演習) 「思春期・青年期の特徴と対応について」(講義・演習)	43名
対象の理解 2	H.15 . 6 . 24	「患者を取り巻く家族や人々への看護介入の方法が理解できる」(ロールプレイ)	53名
対象の理解 3	H.15 . 6 . 17	「インフォームドコンセントの意義と看護師の役割」(講義・GW)	20名
看護研究	H.15 . 6 . 25 H.15 . 12 . 18	「看護研究計画書について」(講義) 「臨床看護研究における倫理的配慮」(講義)	65名
	H.16 . 1 ~ 3 .	研究発表	
看護過程の展開	H.15 . 10 . 21 H.16 . 1 . 20	「事例展開がなぜ必要か」(講義) 事例を通して看護展開の発表	53名
安全の判断 1	H.15 . 6 . 10	「安全対策についてのクティカシキク」(講義) 事前レポートの発表	43名
安全の判断 2	H.15 . 5 . 27	「患者を取り巻く環境についてのあんぜん」(講義) グループ別院内探検と安全内容抽出の発表	52名
安全の判断 3	H.15 . 12 . 16	「安全で確実な看護技術を提供するために」(講義) 各部署の新人安全手引きポケット版作成	20名
リーダーシップ・メンバーシップ 1	H.15 . 12 . 9	「メンバーシップについて」(講義) 体験学習	43名
リーダーシップ・メンバーシップ 2	H.15 . 11 . 28	「リーダーシップとメンバーシップについて」(講義) 体験学習とGW	52名

リーダーシップ・メンバーシップ3	H.15 . 10 . 28	「リーダーシップとは」(講義) 体験学習とGW	20名
リフレッシュ研修	H.15 . 10 . 14	「あなたの心もメンテナンス」(講義)	91名
プリセプターフォローアップ研修	H.15 . 6 . 30	事前レポート、アンケート結果によりGW	34名
秋季セミナー(専任看護師セミナー)	H.15 . 11 . 18	「チーム医療と専任看護師について」	88名
中間管理者研修(看護師長)	H.15 . 5 . ~7 .	4つのテーマによりP 初討議	20名
中間管理者研修(副看護師長)	H.15 . 11 . 12	「副看護師長は何をする人ですか」(講義)	29名

4. 社会的活動

4.1 研修会への講師派遣

- 1) 2003年8月28~31日 三原喜美恵 第6回家族性腫瘍カウンセラー養成セミナー
- 2) 2003年11月29日、2004年1月25日
西海真理、北村由起子、川上智代 平成15年度東京都委託助産教育指導講習会
- 3) 2004年2月7日 浦川由紀子 第2回「子ども虐待予防対策交流会」

4.2 看護学校への講師派遣

- 1) 2003年 丸山栄子、早坂素子
「小児看護学 対象の看護」国立病院東京災害医療センター附属昭和の森看護学校

4.3 研究協力者としての活動

- 1) 西海真理：平成15年度成育医療研究委託事業「NICUの後方医療に関する研究 NICU離脱移行期および在宅療養に必要なサービスと資源のあり方」分担研究者 上泉和子
- 2) 小山陽子：平成15年度独立行政法人福祉医療機構助成事業「小児慢性疾患患児の在宅療養のためのケアマニュアルの開発およびケア提供者の教育に関する事業」事業推進委員長 及川郁子
- 3) 堤順子：平成15年度厚生労働科学研究費補助金「小児慢性特定疾患患者の療養環境向上に関する研究」主任研究者 及川郁子

5. 保育士の活動

5.1 概要

平成14年3月開院と同時に保育士が6名配置され、7~9階の小児6病棟の入院患児を対象に保育活動を行っている。平成15年は“医療現場における保育の確立と保育業務の充実を図る”を目標に、保育士が業務、行事、物品、ホームページ、研修(自己研修)、外部研修・見学対応にわかれ取り組んでいった。今年度は業務の充実を目指し、保育記録システムの改善、年間行事の企画実施、保育教材・玩具の管理を係中心に行った。さらに、院内研修として院内・看護部で行われる各研修会に積極的に参加し、さらに自己学習として保育主催の研修を実施した。

また、保育活動の充実・入院生活のQOLの向上を目的とし、保育士3人1組で2週間に1回、各病棟で制作や紙芝居など、親子で楽しめる設定保育を始めた。これらの活動をはじめ、行事やこど

もたちの作品を成育ホームページで紹介していった。

5.2 保育士の活動

5.2.1 年間行事

- 7月 たなばた会
- 8月 おみせやさんごっこ
- 10月 ハロウィン
- 12月 クリスマス会
- 3月 ひなまつり会

5.2.2 保育業務

- 5月 保育記録(テンプレート)の標準化
保育ホームページ 春号 更新
- 6月 保育研修
- 9月 保育ホームページ 夏号 更新
保育研修
- 11月 保育研修
- 12月 保育ホームページ 秋号 更新
- 2月 設定保育(ぼけっと保育)開始
保育研修
保育ホームページ 冬号 更新

5.3 研修

日本医療保育学会研修会

- 2003(平成15)年11月22日 関東研修会
- 2004(平成16)年3月28日 全国研修会

日本医療保育学会学術集会

- 2003(平成15)年8月23・24日 第7回日本医療保育学会学術集会

5.4 社会的活動

- 2003(平成15)年7月19日 聖徳大学短期大学部専攻科医療保育専攻 講義
高橋みゆき
- 2003(平成15)年8月2日 聖徳大学短期大学部専攻科医療保育専攻 講義
高橋みゆき
- 2003(平成15)年8月23日 第7回日本医療保育学会学術集会 一般演題座長
高橋みゆき
- 2004(平成16)年1月16日 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 講義
高橋みゆき